

H. 30
(2018年)

九月 (今月の揭示板)

真宗大谷派・願成寺

『本当の幸福とは何か?』を説くのが仏教です

私達は思い通りにならなかつた過去の事を思い出し、後悔し愚痴ったりします。また、未来を夢見て願いが適っても、慣れると喜びが薄れ・次々と108の煩惱(身心を悩ます欲)が出てきます。人々は『欲と幸せ』を混同(勘違い)し、『自分の思い通りにならない』と苦悩します。お釈迦様は『人生は苦である』思い通りにならない。未来を心配せず・今できる事を熱心にせよ。誰も明日・死の訪れを予知できない』と説かれました。『健康だと幸せ』と思ひ込むと、病気を引き受けられず苦しみます。無数の因縁(原因と条件)により、病気になったと諦め(明らかにして納得)すると苦悩は和らぎます。『過去の事は(因縁により水が流れ下るように、成るようにならなかつたのだから)全て善かつた、と諦(明ら)めると愚痴ることはない。二度と来ない今が尊いから、自分なりに努力せよ。未来の事は全て阿弥陀仏にお任せすると、心が安らぎ・幸せになれます』が念仏の教えです。

主な参考資料

- (1) 寺本 温(著)『今』尊し。僧侶31人のほけつと法話集、真宗文庫、P. 51〜56(2016年)。
- (2) 大来尚順(著)『小さな幸せの見つけ方』(株)アルファポリス、(2018年)。
- (3) 長田幸康(著)『知識ゼロからの仏の教え』、幻冬舎、P. 42〜67(2008年)。